

(3) 各教科の重点努力目標

科	事項	目標
国語科	1 基礎学力の向上と学習への動機づけ	<ul style="list-style-type: none"> ○必履修科目「国語総合」と「現代文B」「現代文A（3年介護）」を習熟度別学級編成し、きめ細やかな指導を行う。 ○1年次の「国語総合」の時間に週1回学び直しの時間を設ける。 ○漢字検定の実施。定着に向けて講座の取り組みをする。「国語基礎」「発展国語」科目受講者の受験ならびに合格者増を目指す。 ○校内意見発表大会や各種コンクールの取り組みを行う。
	2 進路指導に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ○進路指導部と連携した進路対策講座を実施する。 ○進度の遅い生徒に対する個別指導の実施に努める。
地歴公民科	1 基礎学力の向上と学習への動機づけ	<ul style="list-style-type: none"> ○視聴覚教材・コンピュータ・図書館等を活用し、学習への興味・関心を持たせる。 ○基礎・基本的な知識の定着を図り、より発展的な学習へとつなげる。 ○教材・教具の不携帯の生徒指導の徹底。
	2 進路指導の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○校外学習の計画と実施に取り組む。 ○進路指導部と連携した進路対策講座の実施。
数学科	1 基礎学力の向上と学習への動機づけ	<ul style="list-style-type: none"> ○必履修科目「数学Ⅰ」の習熟度別授業を実施し、指導法を工夫する。 ○学習意欲がある生徒を対象にした講座の開設。
	2 進路指導に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ○進路に応じた科目選択の指導。 ○選択科目等の研究。
理科	1 基礎学力の向上と学習への動機づけ	<ul style="list-style-type: none"> ○授業内容を精選し、指導方法を工夫する。 ○必要に応じ小テスト等での理解度を確認し、基礎力の向上を図る。
	2 科学的な見方・考え方を育てる	<ul style="list-style-type: none"> ○実験・実習を充実させ、安全管理の徹底に取り組む。 ○実験機器・教具の更新と適切な管理に努める。 ○手作業等、実体験を取り入れた授業を工夫する。 ○遅刻・欠課の多い生徒を全職員で連携して指導する。
保健体育科	1 教科の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○学習態度の育成。(体づくりと集団行動の育成の課題解決、自主的・民主的集団の形成) ○施設利用心得やマナーの遵守、教材・教具の整理整頓や清掃の徹底。 ○健康・安全面の指導。(健康管理能力・危機管理能力の育成) ○保健学習を通して生命尊重と自己管理につなげる。
	2 学習への動機づけ	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の創意工夫・運動技能の向上。(技術構造の解明、基礎・基本の重視と系統性の確立) ○「スポーツⅡ」「スポーツ基礎」「スポーツ研究」「スポーツ課題研究」の系統的な取り組み、授業の実践。 ○「琉球舞踊」「古武術Ⅰ・Ⅱ」の履修に伴う技術向上と段位取得の推進。 ○体育学習ノートの活用。
外国語科	1 基礎学力の向上と学習への動機づけ	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の定着、向上を目標とした授業・教材研究 (共有フォルダ、公開授業、校外研修、ミニワークショップ等) ○習熟度授業における指導形態や教材の工夫 ○視聴覚教材やソフトウェア(英検CAT、Calabo ex.等)の効果的な活用
	2 応用力の養成	<ul style="list-style-type: none"> ○ティームティーチングによる指導の充実、教材共有 ○各種コンテスト(スキット、スピーチ、レシテーション、スペリング等)
	3 自己理解・異文化理解	<ul style="list-style-type: none"> への積極的な取り組み ○留学・国際交流プログラムへの積極的な取り組み ○英語、中国語、スペイン語圏の文化、また、自国の文化理解を促進する授業の展開 ○実用英語技能検定の実施に向けた課外講座等の指導体制の強化
	4 進路指導部との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○進学・就職試験対策用の講座における個別指導の充実

科	事 項	目 標
芸術科	〈音楽〉 1 教科の目標 2 学習活動の動機づけ 3 施設設備の整備	○個に応じた指導で基礎基本の徹底を図る。 ○「わかる」「できる」授業の実践を目指す。 ○発表を通して表現する喜びを体験させ、生徒一人一人の個性を大切にしながら協調性を養う。○クラスコンサートの実施。 ○備品（楽器等）を扱う時の注意やマナーの指導を徹底し、心の教育に繋げる。
	〈書道〉 1 教科の目標 2 学習活動の動機づけ 3 施設設備の整備	○個に応じた指導で基礎基本の徹底を図り、書写能力の向上を目指す。 ○表現と鑑賞の基礎的な知識を伸ばし、書の伝統と文化について理解を深める。 ○表現することの喜びや書を楽しむ態度を通して、書に親しみ書を愛好する心情や豊かな心の育成を図る。 ○基礎技術を繰り返し行い、基礎技術の修得進度を生徒自身で確認させる。 ○教材を工夫し、日常生活における書への関心を高め、生涯学習へと繋げる。 ○互評会や班活動を通して生徒の自主的発言を促し、自己の目標を明確にさせる。 ○校内での展示会の場を設ける。 ○高文祭、各種コンクール、書写検定など、対外的活動へ積極的に参加する。 ○用具・用材の扱い方の指導を強化するとともに、保管場所および使用する生徒を固定化・明確化する。
	〈美術・クリエイティブアーツコース〉 1 教科の目標 2 学習活動の動機づけ 3 施設設備の整備 4 その他	○生徒の個性や技量に応じた表現力を身につける。 ○自己の専門的な課題への取り組みを推進する。鑑賞や講評会を通して発表力を伸ばす。 ○科全体で生徒の実態、要望に即した教育課程の見直しを図る。 ○校外体験・鑑賞学習の実施。 ○卒業記念展の充実と継続的实施。 ○教科と部活動のつながりで、その発展性と活性化を図る。 ○高文祭等、対外的活動への積極的参加。 ○進路指導部と連携した進路対策講座の実施。 ○外部講師の授業実践で刺激を与える。 ○美術に関する検定の推進。○高大連携の推進。 ○コースの特色を生かす為に幅広い多様な科目に対応出来る、施設設備の充実を図る。 ○施設の地域への開放。 ○教材教具を共有化・精選し、実習環境の充実を図る。

科	事 項	目 標
家庭科	<p>1 基礎学力の向上と学習への動機づけ</p> <p>2 基本的な生活指導</p> <p>3 施設・設備の整備</p>	<p>○実生活に即した教材の工夫に努め、視聴覚機器等を活用したわかりやすい授業への実践を図る。</p> <p>○計画的な実習（被服・調理）を通して基礎基本の定着を図る。</p> <p>○全国高等学校家庭科技術検定4・3級（食物・被服・保育）の実施。</p> <p>○遅刻・欠課等の指導。</p> <p>○実習時の安全指導・服装指導の徹底。</p> <p>○実習後の清掃・整理整頓の徹底。</p> <p>○実習における安全管理の徹底。</p> <p>○食材等の衛生管理の徹底。</p>
商業・情報科	<p>1 情報社会で生き抜く知識や技術を身につける</p> <p>2 社会人として必要な知識・マナー等を身につける</p>	<p>○変化の著しい情報社会の中で、必要な情報を収集・活用し、自ら判断できる知恵を身につけさせる。</p> <p>○情報モラルや情報社会での望ましい態度を身に付けさせ、問題解決能力を向上させる。</p> <p>○教材に携帯電話やインターネットなどの内容を盛り込み、生徒の実生活とリンクさせてリアリティのある授業実践を展開する。</p> <p>○実社会で即戦力となる力として、検定取得を推奨する。</p> <p>○言葉遣いや接遇態度等、社会人として必要な知識・技術・マナー教育を行う。</p>
福祉科	<p>〈みらい福祉科 ・介護福祉コース〉</p> <p>1 指導目標</p> <p>2 学習活動の動機づけ</p> <p>3 基本的な生活指導</p> <p>4 学科改編に向けて</p>	<p>○地域福祉を担い、リードする福祉人材の育成。</p> <p>○知識・技術・思いやりの心を兼ね備え、実践力のある人材育成を目指した体験的な授業。</p> <p>○資格取得養成研修等を通して、主体的取り組みの促進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士国家資格 ・同行援護従業者養成研修 ・普通救命講習 ・認知症サポーター養成研修 <p>○地域や福祉施設、指導者等との交流事業や特設授業、ボランティア活動、他府県の福祉系高校との交流会を通して、多様な福祉観を養わせる。</p> <p>○福祉従事者としてふさわしい態度教育の指導徹底。身なり・勤怠・接遇態度等。</p> <p>○医療的ケアを含めた施設設備や内規、教育課程、施設実習等のあり方について研究・充実化を進める。</p>